

令和3年第5回室蘭市社会教育委員の会定例会会議録（要旨）	
日 時	令和3年10月21日（木） 10時00分～11時30分
場 所	2階大会議室
出席委員	阿知良委員長、三村副委員長、石井委員、大須賀委員、大平委員、小野委員、後藤委員、中村委員
欠席委員	井形委員、佐野委員
事務局	國枝教育長、伊藤教育部長、西館教育次長、佐々木主幹、佐藤主幹、伏見館長、谷中主査

<議事報告>

【日程1】

報告第1号 令和3年第3回室蘭市議会定例会について

（事務局）事務局より説明した。

（質疑応答）

（A委員） パートナーシップ制度について、本市の状況は。

（事務局） 民間企業や市民の広い理解がなければ効果は薄い。導入に向け、啓発など社会的理解を進める必要があると考えている。

（B委員） 北海道・北東北縄文遺跡群の世界文化遺産登録に関連して。函館の縄文ウィークに参加した際、参加者に啓発グッズをプレゼントしていたのを見た。市民に向けたPRの方法として、イベントでグッズを配るなどすると面白いのではないかと感じた。胆振のPRとなるよう、室蘭でも同様のイベントを行ってはどうか。

（事務局） 室蘭市は当該縄文遺跡群に含まれていないが、今後開館する新しい図書館のエントランスや旧絵鞆小学校で展示するような催しを胆振振興局のPR事業としてできないか考えており、振興局と打ち合わせしているところである。

（A委員） PRに際し、振興局と自治体間の連携や協力は大切である。

時々、旧石器時代も縄文時代も混同した展示を見ることがあるが、本市で行う際は、古い時代を全部一括りするような展示をするべきではないと思う。また、新図書館の雑誌スポンサー制度について、雑誌の選定に関して偏りなどはないのか。

（事務局） スポンサーには、市が選書した雑誌の中から選んでいただく。

【日程2】

報告第2号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書（令和2年度実績）について

（事務局）事務局より説明した。

（質疑応答）

（C委員） 市内でコミュニティ・スクールはどの程度進んでいるのか。コロナ禍もあり、進捗状況が見えてこない。

- (事務局) 令和4年度中に全中学校校区で整備する予定。11月以降、各学校から青少年健全育成協議会を含む関係団体の皆様へご相談に伺う予定である。
- (C委員) 学校統廃合に伴い、青健協の中には中学校が無い地区もある。町会との関わりもあるが、青少年健全育成協議会では役員の高齢化が進み、行事が進められなくなった地区もある。学校統廃合に合わせ、青健協の再編が必要と考える。
- (事務局) コミュニティ・スクールでは、今後、様々な団体が協力した地域活動や見守りが求められる。来年度には市内全域の学校にコミュニティスクールができる。皆が動きやすく、一部の負担だけが大きくなることのない組織としたい。青健協の組織再編は労力を要すると思われる。地域での協議の際には、市教委も呼んでいただきたい。
- (A委員) コミュニティ・スクールに限らず、地域の協力者を組織する時、町会への丁寧な説明は大事であるが、地域の特性や、地域のために頑張っている若い人の特色を見つけ、学校も色々な人が関心を持つようなアプローチをしてほしい。元気な人が関わると、盛り上がって進めやすい。地域生活課の市民活動団体情報なども活用してはどうか。
- (事務局) 地域の人材発掘は学校だけではなく、生涯学習課や地域生活課から情報提供するなどして、地区の代表やフリーの元気な人を集めてコミュニティ・スクールに加わっていただき、様々な世代や団体が顔つなぎをすることで盛り上げたいと考えている。
- (D委員) 蘭中地区の場合は地元市議が動いてくれる。地域の団体も複数あり、学校を巻き込んだ活動を行っており、上手くいっていると感じる。
- (A委員) 東明地区では地域の盆踊りを開催する若手の団体が活動しているので、そういうところから若い人を探していけると良いと思う。
- (D委員) 蘭中地区は、少しずつ動き出すところが良いところ。活躍する大人の姿を子どもが見ることも大切なこと。

【日程3】

報告第3号 室蘭市芸術文化表彰について

- (事務局) 事務局より説明した。
(質疑応答) なし

【日程4】

報告第4号 室蘭市青少年及び青少年育成者表彰について

- (事務局) 事務局より説明した。
(質疑応答)
(A委員) 今後は企業等だけでなく、地域で活躍する人が地域から推薦される仕組みづくりもあって良いと思う。
(事務局) 優良勤労青少年表彰は企業からの推薦だけではなく、地域の貢献者を含めた表彰のあり方を検討したい。

【日程5】

報告第5号 について

- (事務局) 事務局より説明した。
(質疑応答)

- (A委員) スポーツ協会からの表彰もあるのでは。
(E委員) 市の表彰とスポーツ協会の表彰は別である。
(B委員) スポーツ賞はわかりやすいが、ほかの基準が難しい。各団体から推薦があれば表彰されるのか。
(事務局) 勤労青少年等は企業からの推薦が基本。文化については文化連盟が表彰した翌年に市で表彰することが多い。
スポーツに関しては年齢や役職等を数値化しており、基準点を超えた場合推薦している。

【日程 6】

報告第 6 号 室蘭市環境科学館条例の一部の施行期日を定める規則制定の件について

【日程 7】

報告第 7 号 室蘭市環境科学館条例施行規則制定の件について

- (事務局) 関連があるため、日程 6 と日程 7 を一括して事務局から説明した。
(質疑応答) なし)

【日程 8】

報告第 8 号 市立図書館条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則制定の件について

【日程 9】

報告第 9 号 市立図書館条例の一部改正に伴う教育委員会関係規則の整備に関する規則制定の件について

【日程 10】

報告第 10 号 室蘭市教育委員会公印規則中一部改正の件について

【日程 11】

報告第 11 号 休館日に係る教育委員会関係規則の整理に関する規則制定の件について

- (事務局) 関連があるため、日程 8、日程 9、日程 10、日程 11 を一括して事務局から説明した。
(質疑応答)

(C委員) 改正の文言などは市で統一的なものなのか。

(事務局) 教育委員会で所管する他の施設に合わせて、文言の整理を行った。

【日程 12】

報告第 12 号 室蘭市文化財審議会委員の委嘱について

- (事務局) 事務局より説明した。
(質疑応答) なし)

【日程 13】

報告第 13 号 11 月・12 月行事について

- (事務局) 事務局より説明した。
(質疑応答) なし)

【日程 14】

その他 戦跡巡りにについて

- (事務局) 事務局より説明した。

(質疑応答 なし)

次回開催日 12月23日(木)